

3月20日 JDS 千葉旭支部の療育セミナー**親子共に日々をより豊かに暮らすためのヒントが満載**

今回のセミナーは、千葉旭支部（あさひのつどい）創立25周年記念として、匝瑳市マザーズホームで開催しました。療育塾「ドリームタイム」を立ち上げ運営されている作業療法士、木村順先生をお迎えし、感覚統合による療育について講演していただきました。参加者は40名ほどでしたが、セミナーが終わっても途絶えない質問者の列に、保護者の方々の切実さや熱意が伝わってきました。

始まりは命の話から。自然淘汰の難関をくぐり抜けて生まれてきたダウン症のある子どもの生命力の強さをしみじみと確認しました。

もちろん「感覚統合」についてのお話もありましたが、豊富な内容のため、このセミナーでは入り口程度のお話が精一杯でした。

私たち親が追い詰められず楽しく子育てをするための、そして指導者との関係性を賢くつくるための、木村先生の歯に衣着せぬご指摘は、まさに的を射た内容。関西弁で小気味良く語られ、充実した3時間となりました。

【千葉旭支部 会員：堀内 亜希】

感覚統合の第一人者、木村順先生による充実した講演会

3月20日 JDS 香川支部の啓発活動**配布活動（4回目）と支部活動のパネル展示**

4年目の配布活動は、3月20日（日）に琴電 瓦町駅の改札前コンコースで行いました。いつもながら、初めは緊張と恥ずかしさで、なかなか声をかけられません。それでも、何人もの方が気持ちよく受け取ってくださることで、次第に配ることに慣れていきます。何事も社会経験ですね。高校生風の男子が「小学校のときにダウン症の同級生がいました。どう接したらいいのですか？」と尋ねてくださるという、うれしいことがありました。

さらに今年は、瓦町フラッグ8階にある〔HAPPY MIX STYLE Social art act #1〕での活動紹介のパネル展示で参加しました。「友人がダウン症の赤ちゃんを出産したんです」と、若いお母さんがわざわざ立ち寄っ

て声をかけてくれました。ダウン症について知りたい、何か力になれることはないかと、チラシやダウン症 mini ブックを手に取って熱心に見てくれました。

【香川支部 支部長：橋本 美香】

「がんばったよ！」瓦町駅に掲示されたポスターの前で